

# 平成 27 年度 大学等におけるインターンシップ実施状況について

## I. 調査内容

- (1) 調査時期 : 平成 28 年 8 月～9 月
- (2) 調査対象 : 大学 (782 校 (学部 758 校・大学院 626 校))、短期大学 (343 校)、  
高等専門学校 (57 校)
- (3) 対象期間 : 平成 27 年度 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)
- (4) 回答率 : 95.3 %

※本調査において「インターンシップ」とは、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」としています。

## II. 調査結果(概要)

### 1. 単位認定を行うインターンシップの状況

#### (1) 学校数・割合 【P.4 1.(1)】

インターンシップを単位認定している大学 (学部・大学院) と単位認定はしていないが学生の参加状況を把握・関与している※<sup>1</sup> 大学 (学部・大学院) の合計は 730 校 (93.4 %) ※<sup>2</sup>。そのうち、単位認定している大学 (学部・大学院) は 581 校 (74.3%) ※<sup>3</sup> (昨年度 566 校 (72.9%) と比較して 15 校 (1.4 ポイント) 増加)。

※<sup>1</sup> 授業科目以外 (正課外) で行われるインターンシップであり、大学等を通じて対応しているもの (大学等のキャリアセンター等が窓口となって組織としてインターンシップの紹介・斡旋するなど大学等が把握・関与しているもののみ) を指す。以下同じ。

※<sup>2</sup> 単位認定を行うインターンシップと単位認定を行わないインターンシップのいずれか又は両方を行っている大学の合計。

※<sup>3</sup> 「特定の資格取得に関係するもの」を除く。「特定の資格取得に関係するもの」とは、特定の資格取得のために現場で実施する実習 (例: 教育実習、看護実習、臨床実習等) を指す。以下 (2) ～ (13) において同じ。

#### (2) 国公立別学校数・割合 (大学 (学部・大学院) のみ) 【P.4 1.(2)】

国公立別では、国立大学での実施率が最も高い。

#### (3) 参加学生数・参加率 【P.5 1.(3)】

単位認定されるインターンシップと単位認定されないインターンシップ※<sup>1</sup> に参加した学生 (学部・大学院) の合計は 631,939 人 (22.5%) ※<sup>2</sup>。

そのうち、単位認定されるインターンシップに参加した学生 (学部・大学院) は 580,696 人 (20.7%)。うち特定の資格取得に関係しないインターンシップに参加した学生は 86,248 人 (3.1%) (昨年度 72,053 人 (2.6%) と比較して 14,195 人 (0.5 ポイント) 増加)。

※<sup>1</sup> 大学が把握・関与している分のみ。

※<sup>2</sup> 参加学生数は、単位認定を行うインターンシップと単位認定を行わないインターンシップのいずれか又は両方に参加した学生の合計。

参加率は平成 27 年度学校基本調査における各学校種の学生数を基に算出。以下同じ。

参加学生数は延べ人数。以下同じ。

**(4)国公立別参加学生数・参加率(大学(学部・大学院)のみ) 【P.5 1.(4)】**

国公立別では、公立大学の学生の参加率が最も高い。

**(5)実施学年(体験学生数構成比) 【P.6 1.(5)】**

実施学年別では、学部3年・修士1年・短大1年・高専4年での参加が最も多い(特定の資格取得に関係しないもの)。

**(6)実施時期(体験学生数構成比) 【P.7 1.(6)】**

実施時期別では、各学校種とも8月・9月(夏期休暇期間中)での参加が多い。

**(7)実施期間(体験学生数構成比) 【P.8 1.(7)】**

実施期間別では、各学校種とも2週間未満での参加が多い(大学(学部・大学院)・短大では1週間～2週間未満、高専では2日～1週間未満が最も多い)。

**(8)実施地域(体験学生数構成比) 【P.8 1.(8)】**

実施地域別では、各学校種とも関東での実施が最も多い。

**(9)単位数(体験学生数構成比) 【P.9 1.(9)】**

単位数別では、各学校種とも2単位以下での実施が多い(大学(学部・大学院)・短期大学では2単位、高等専門学校では1単位が最も多い)。

**(10)必修・選択(体験学生数構成比) 【P.9 1.(10)】**

必修・選択別では、各学校種とも選択が最も多い(特定の資格取得に関係しないもの)。

**(11)報酬等の支給(体験学生数構成比) 【P.10 1.(11)】**

報酬等の支給の有無については、各学校種とも受入れ企業等から学生に対して支給されていない場合が多い。

支給されている場合は、大学(学部)では実費・交通費のみ、大学(大学院)・短期大学・高等専門学校では実費・交通費と賃金・報酬の両方での支給が多い。

報酬の有無別の実施期間は、各学校種とも2週間未満での参加が多い。

**(12)インターンシップに参加した外国人留学生数 【P.11 1.(12)】**

大学(学部・大学院)で1,492人、短期大学で59人、高等専門学校で63人の外国人留学生が日本国内でのインターンシップに参加した。

**(13)海外インターンシップの実施状況 【P.11 1.(13)】**

海外インターンシップは、高等専門学校での実施率が最も高い。国別は、アメリカが多い。実施期間は、国内でのインターンシップより長い(大学院では1ヶ月～2ヶ月未満等)。

## 2. 単位認定を行わないインターンシップの状況

### (1) 学校数・割合 【P.13 2.(1)】

インターンシップを単位認定していないが学生の参加状況を把握・関与している大学（学部・大学院）は 443 校（56.6%）（昨年度 356 校（45.9 %）と比較して 87 校（10.7 ポイント）増加）。

### (2) 国公立別学校数・割合（大学(学部・大学院)のみ） 【P.13 2.(2)】

国公立別では、国立大学が最も割合が高い。

### (3) 参加学生数・参加率 【P.14 2.(3)】

単位認定されないインターンシップに参加した学生(学部・大学院)は 51,243 人（1.8%）。  
（昨年度 42,331 人（1.5%）と比較して 8,912 人（0.3 ポイント）増加）。

### (4) 国公立別参加学生数・参加率（大学(学部・大学院)のみ） 【P.14 2.(4)】

国公立別では、国立大学の学生の参加率が最も高い。

### (5) 学年(体験学生数構成比) 【P.14 2.(5)】

学年別では、学部 3 年・修士 1 年・短大 1 年・高専 4 年での参加が最も多い。

### (6) 時期(体験学生数構成比) 【P.15 2.(6)】

時期別では、各学校種とも 8 月・9 月（夏期休暇期間中）での参加が多いが、2 月以降（春期休暇期間中）での参加も多い。

### (7) 期間(体験学生数構成比) 【P.15 2.(7)】

期間別では、各学校種とも 2 週間未満での参加が多い。

### (8) 実施地域(体験学生数構成比) 【P.15 2.(8)】

実施地域別では、大学（学部・大学院）は関東での実施が最も多い。